

文化祭開催のご挨拶



野田市教育委員会
教育長 染谷 篤

今年で76回目を迎えます、市民の芸術の祭典「野田市文化祭」が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

今年度は、久保周平様、高野てる子様が栄えある野田市文化団体協議会の文化功労者として表彰されます。本市の文化発展に永年寄与されました功績に心より敬意を表します。

さて、今年は市制施行75周年を迎え、これまでの野田市の歩みを振り返るとともに、市民のみなさまとともに、新たな一步を踏み出す「スタートの年」としてあります。市民の皆様の文化芸術活動についても、より一層活発化され、野田市文化祭がますます盛会となり、芸術活動に関わる皆様の豊かな感性や識見が、更なる振興と次世代への継承に大きな力となることを祈念し、御挨拶とさせていただきます。



野田市文化祭実行委員会
委員長 中野 祐三郎

令和7年度第76回野田市文化祭が開催されますことは、ご参加の皆様をはじめ野田市長鈴木有様並びに野田市教育委員会のご理解ご協力の賜と心より御礼申し上げます。

この度、野田市文化団体協議会では、文化功労者として久保周平様と高野てる様を表彰させていただくこととなりました。お二人には、長年にわたり野田市文化祭にご参加頂いております。今回の受賞をお慶び申し上げますとともにご功績に対し心より感謝申し上げます。

ご来場者、出演者、出品者、この文化祭に関わる全員で文化祭を大いに楽しんでいただきますようお願い申し上げます。

野田市文化団体協議会 文化功労者のプロフィール



くぼ しゅうへい
久保周平氏

昭和12年長野県長野市に生まれる。昭和53年3月から関宿町（現野田市）在住。と同時に自治会長を拝命。令和4年までの長きに亘り尽力し、地域住民との交流を深めた。昭和62年5月関宿町文化団体協議会を設立とともに会長に就任。文化活動に尽力した。平成15年6月野田市・関宿町の合併に伴い両文化団体協議会の統合に際し、その移行時の特例措置として野田市文化団体協議会（文協）副会長に就任し、その要職に尽力し現在に至る。

平成11年第1回東葛飾文化祭 in 県民プラザへの参加に運営委員として地域文化の振興と芸術文化活動の促進、推進に寄与すること多大である。

平成18年「文協会員作品即売と展示会」の検討委員会発足、委員長に就任し翌年「第1回文協会員作品即売と展示会」を開催した。本年第16回目を迎える継続事業である。

さらに平成16年より野田市文化センター運営審議会委員に就任。現在はその会長として貢献。多岐に亘るジャンルでの活躍と幅広い活動の功績は誠に顕著である。



たかの こ
高野てる子氏

昭和23年関宿町に生まれる。結婚で埼玉県川口市へ転居したが間もなく関宿町に在住。

昭和55年関宿町にクラシックバレエのストレッチとヨガを応用したヨガ体操教室を開講。

平成8年子どもたちのための本格的なクラシックバレエ教室を開講し、その普及と継承に尽力した。

平成15年野田市・関宿町の合併に伴い両文化団体協議会の統合の折、野田バレエ・ダンス協会へ入会。平成27・28年に代表者を務めその要職に尽力した。市内をはじめ近隣市町においてクラシックバレエの普及と発展、シニアの健康づくり体操を広めることに努め現在に至る。舞台芸術に関して、高野バレエ研究所の発表会を始め、全幕公演「ジゼル」「白鳥の湖」「くるみ割り人形」も主催。野田市文化祭・東葛飾文化祭 in 県民プラザ、各公民館まつり等に例年参加。また、坂東市から要請を受け敬老会や音楽祭に賛助出演し、好評を博した。

平成18・19年チャリティーコンサート「音楽と舞のコラボレーション」を主催。近郊で活動するアーティストとともに舞台構成し、その実践力と功績は誠に顕著である。